

検定協会だより

5

令和3年5月
第485号





令和3年5月号

<http://www.jfeii.or.jp>

目次

巻頭のことば

- 1 「災害に強く安全・安心に暮らせるまち」の実現に向けて
静岡市消防局長 小長井 善文

協会情報

- 4 消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧
消火・消防設備部 消防設備課
- 7 放水型ヘッド等スプリンクラー設備の評価結果概要について
虎ノ門事務所
- 9 「衝撃電圧試験機」の更新について
警報設備部 報知設備課

お知らせ

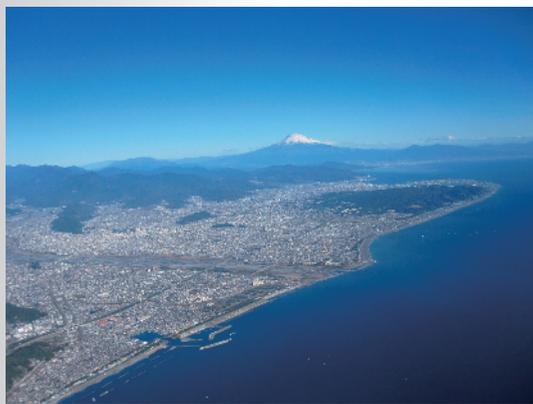
- 17 「令和3年度一般公開（オンライン開催）」を終えて
企画研究部 情報管理課
- 18 協会通信・業界の動き・
消防庁の動き
- 24 検定・性能評価・受託評価数量
(令和3年4月)
- 21 新たに取得された型式一覧

「災害に強く安全・安心に暮らせるまち」の実現に向けて



静岡市消防局長
小長井善文

静岡市消防局は、明治22年4月公設静岡市消防組が創設され幾多の歴史の変遷を経過し、平成28年4月1日、静岡市、島田市、牧之原市、吉田町及び川根本町の3市2町との消防救急広域化の実現により管轄人口が約88万人、管轄面積は、政令指定都市のうちで最も広い約2,350平方キロメートルと広大な地域となりました。



静岡市上空から富士山を眺める



お茶畑を走る大井川鐵道の蒸気機関車

地域の特性については、南に駿河湾の海岸線が広がり、北は3,000m級の山々が10座連なる南アルプスを背後に、安倍川や大井川の一級河川を抱え、豊かな美しい自然と温暖な気候、長い日照時間、適度な降水量、そして、清らかな水に恵まれ、お茶やみかんなどの栽培が盛んな地域資源に恵まれた特性を有しています。また、インフラ環境では、高度経済成長時代からの躍進を遂げ東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線、東海道新幹線、東海道本線といった日本の東西大都市を繋ぐ大動脈が走り、南北には中部横断自動車道の全線開通が近々予定されています。大井川沿いには、緑に包まれたお茶畑

の中を走る蒸気機関車が有名な大井川鐵道、静岡県空の玄関口である富士山静岡空港、そして国際貿易と遠洋漁業の基地であり、国際拠点港湾として日本を代表する清水港など大規模社会資本を有しており、さらに、清水港周辺には石油コンビナート等特別防災区域、隣接する御前崎市には中部電力浜岡原子力発電所があり、雄大な自然と地域住民の暮らし、政治経済、各種インフラとエネルギー基幹産業が融合する地域です。

これらの消防需要に対応すべく、1局、2部、8課、9消防署、1分署、23出張所に対して1,040人（条例定数）の職員を配置し、強固な組織体制を構築し各種災害による被害の軽減に努め住民が安全・安心に暮らせるまちを実現するため、日々の消防業務を遂行しています。

一方で、超高齢化社会が到来している中、人口減少社会が問題視され経済情勢の急速な変化など難しい行政運営が求められる状況化で、発生が危惧されている南海トラフ巨大地震は、静岡県第4次地震被害想定において、極めて甚大な人的・物的被害がもたらされると予想され、大規模災害に対する消防機関に寄せる住民の期待は益々大きくなっており、あらゆる事態に対して十分な即応体制の構築が強く求められています。

さらに、国難とも言えるべき新型コロナウイルス感染症がパンデミック（世界的な大流行）の状態となり、感染者が急増し、経済にも甚大な影響をもたらしており、感染症拡大の収束が見通せない中で、国や地方公共団体、医療関係者、専門家、事業者等を含む国民が一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでおりますが、防火安全対策についても、決して疎かにできない重要なことであり、コロナ禍によって“新しい生活様式”を定着させ、その上に構築される新たな防火安全対策を実現していかなければなりません。今般、静岡市消防局においは、各種イベント、講習会及び研修会を一時的に縮小しましたが、各分野で感染症対策を十分に施したうえで業務を行っています。

このような状況の中で静岡市消防局の取組みを紹介いたします。

「災害対応力の強化」といたしまして、消防・救急・救助隊等の現有する部隊を有効に活用するため、令和2年度より平日の日中に需要が多い救急事案に対し新たに日勤救急隊を配置し現場到着時間の短縮に努めております。また、令和3年度からは当消防局警防部警防課内に「災害機動支援・部隊管理室」を設置し、災害現場における活動部隊の安全管理と活動検証を行い複雑化する災害への安全確保と高度な災害対応力を実現するため消防力の充実を推進していきます。

つぎに、「火災予防体制の強化」といたしまして、住宅火災の逃げ遅れによる死者数の発生を減少させるため、住宅用火災警報器の設置及び取替えを引き続き推進するとともに、依然として出火原因の上位を占める放火及び放火の疑いによる火災を撲滅するた

め放火されない環境づくりを地域住民と共に実施しています。また、防火対象物の重大な消防法令違反に対する査察を強化することで消防法令違反の絶無を推進していきます。

さらには、「人材育成の強化」です。使命感と熱意を持ち、自ら考え行動できる職員を育成するため、人材育成ビジョンを策定し、各分野で能力を発揮できるスペシャリストを育成するため新たな研修計画を策定し、職員の育成を推進していきます。

そして、女性職員の活躍推進の取組みとして、キャリアアップ支援を目的とした職域拡大、職場環境改善のための女性専用施設の整備、仕事と家庭の両立を推進するためワークライフバランスの強化を図り、女性消防吏員数の増加に繋がるような施策の実施を推進していきます。

このように、静岡市消防局におきましては、大規模災害等への備えを万全とし、地域住民の目線に合わせた多角的視点に立ち、地域住民に寄り添いきめ細やかな消防サービスを提供することにより、「災害に強く安全・安心に暮らせるまち」を実現し、新型コロナウイルスの早期収束を願いウイズコロナの下、地域住民の負託に応えてまいります。

結びに、日本消防検定協会及び消防防災分野にご尽力いただいている皆様方の益々の御発展を祈念し、巻頭のことばとさせていただきます。



消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧

消火・消防設備部消防設備課

下記一覧表は当協会が試験を行い、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）に適合するものと判断した消防ポンプ自動車に用

いる機関、車台及び駆動装置を各会社別にまとめたものです。（令和3年4月22日現在）

消防ポンプ自動車の機関及び車台一覧表

令和3年4月22日現在

社名	機 関			車 台				車 両 総重量 (t)	駆 動 装 置 型 式 (ギヤ比)	備 考 (適用補助型式等)				
	型 式	最高回転等 (kW(PS)/rpm)	総 排気量 (cc)	車 名 型 式	車 台 型 式	ボイ ル バース (m)	最 大 積 載 量 (t)							
日 野 自 動 車 株	N O 4 C	100(136)/3,000 110(150)/2,500	4,009	SKG-XZU600E	XZU600	2.525	3.00	7.30	HWOM35A (0.981) (1.106)	電気式がバナ (CD-I)				
				SKG-XZU640M	XZU640	2.80								
				SKG-XZU685M◎	XZU685									
				TKG-XZU600E	XZU600	2.525								
				TKG-XZU640M	XZU640	2.80								
				TKG-XZU685M◎	XZU685									
				TPG-XZU600E	XZU600	2.525								
				TPG-XZU640M	XZU640	2.80								
				2RG-XZU600E	XZU600	2.525								
				2PG-XZU600E	XZU600	2.525								
				2RG-XZU640M	XZU640	2.825								
				2PG-XZU640M	XZU640	2.80								
				2KG-XZU685M◎	XZU685	2.80								
				J O 7 E	146(198)/2,850 177(240)/2,500	6,403					LKG-FE7JGAA	FE7JGA	3.75	8.50
	LDG-FE7JGAA	FE7JGA												
	LKG-FE7JJAA	FE7JJA	4.25				8.60							
	LDG-FE7JJAA	FE7JJA												
	LKG-FE7JCAA	FE7JKA	4.54				8.70							
	LDG-FE7JCAA	FE7JKA												
	QKG-FE7JGAA	FE7JGA	3.75				8.50							
	QKG-FE7JJAA	FE7JJA	4.25				8.60							
	QKG-FE7JCAA	FE7JKA	4.54				8.70							
	146(198)/2,850 162(220)/2,500	6,403	SKG-FD7JGAA				FD7JEA	3.28	4.50	8.00	LFF (1.073) (1.157) HWOM35A (1.176)	電気式がバナ (CD-II、水槽車、 化学車I、II、はしご 車、屈折はしご車等)		
			SDG-FD7JGAA	FD7JEA										
SKG-FD7JGAA			FD7JGA	3.75	4.45	8.00								
SDG-FD7JGAA			FD7JGA											
SKG-GD7JGAA			GD7JGA	3.75	6.40	10.99								
SDG-GD7JGAA			GD7JGA											
SDG-FX7JGAA◎			FX7JGA	3.75	4.05	8.00								
SDG-GX7JGAA◎			GX7JGA	3.75	6.80	11.30								
146(198)/2,850 162(220)/2,500			6,403	TKG-FD7JGAA	FD7JEA	3.28	4.50	8.00					LFF (1.073) (1.157)	HWOM35A (1.176)
				TKG-FD7JGAA	FD7JGA	3.75								
	TKG-GD7JGAA	GD7JGA		3.75	6.40	10.99								

J 0 8 E	146(198)/2,850 169(230)/2,500	7,684	LDG-FT8JGAL◎	FT8JGA	3.75	6.80	13.00	HWOM35A (1.176)	電気式がバナ (水槽車Ⅱ、化学車Ⅱ～Ⅳ、大Ⅰ、はしご車、屈折はしご車等)
A 0 5 C	173(235)/2350 177(241)/2300	5,123	2PG-FD2ABA 2KG-FD2ABA 2DG-FD2ABA	FD2AB	3.32 3.79	3.90 3.80	8.00	HWOM35A (1.418)	電気式がバナ (CD-Ⅱ、水槽車、化学車Ⅰ、Ⅱ、はしご車、屈折はしご車等)
			2KG-FX2ABA◎ 2PG-GD2ABA 2KG-GD2ABA 2DG-GD2ABA	FX2AB GD2AB	3.79 3.79	3.40 6.30	8.00 10.99		
			2PG-GX2ABA◎ 2KG-GX2ABA◎	GX2AB	3.79 4.00	6.00 6.80 6.90	11.30 11.90		
			2PG-FE2ABA 2KG-FE2ABA 2DG-FE2ABA	FE2AB	3.79 4.58	7.50 7.80	14.50		
A 0 9 C	230(313)/2,200 235(320)/1,800	8,866	LKG-FH1AHAA LKG-FH1ALAA	FH1AHA FH1ALA	4.18 4.88	9.10 8.90	20.00	SP64AG (1.650) AC858W (1.672) AC870W (1.610) ZF110R (0.97) ZF110S (0.97)	電気式がバナ (水槽車Ⅱ、化学車Ⅱ～Ⅴ、大Ⅰ、はしご車、屈折はしご車、大型高所放水車等)
	271(368)/2,200 279(380)/1,800	8,866	LDG-FR1APBA LDG-FS1APBA LDG-FW1ATBA LDG-PR1APBF ※	FR1APB FS1APB FW1ATB PR1APB	5.77 5.55 6.35 5.51	13.90 13.60 13.30 —	22.00 22.00		
	230(313)/2,200 235(320)/1,800	8,866	QKG-FH1AHAA QKG-FH1ALAA	FH1AHA FH1ALA	4.18 4.88	9.10 8.90	20.00		
	271(368)/2,200 279(380)/1,800	8,866	QDG-FR1APBA QKG-FS1APBA QDG-FW1ATBA	FR1APB FS1APB FW1ATB	5.77 5.55 6.35	13.90 13.60 13.30	22.00		
	230(313)/2,200 235(320)/1,700	8,866	QPG-FH1AHDA QPG-FH1ALDA	FH1AHD FH1ALD	4.18 4.88	9.10 8.90	20.00		
	271(368)/2,200 279(380)/1,800	8,866	QDG-FR1APEA QPG-FS1APEA QPG-FW1ATEA QDG-PR1APEF ※	FR1APE FS1APE FW1ATE PR1APE	5.77 5.55 6.35 5.51	13.60 13.50 13.30 —	22.00 22.00		
	230(313)/2,200 235(320)/1,700	8,866	2PG-FH1AGA	FH1AG	4.8	8.80	18.00		
	271(368)/2,200 279(380)/1,800	8,866	2DG-FR1AJA 2PG-FQ1AJG 2PG-FW1AJG 2PG-FW1AHG 2DG-PR1APJF ※	FR1AJ FQ1AJ FW1AJ FW1AH PR1APJ	5.7 5.725 6.325 7.075 5.51	13.30 13.90 13.00 15.90 —	22.00 25.00 21.55		
いすゞ自動車株	4HK1F	93(127)/2,700 154(210)/2,400	2RG-FRR90S2 2PG-FRR90S2 2RG-FSR90S2 2PG-FSR90S2 2RG-FRS90S2◎	FRR90 FRR90 FSR90 FSR90 FRS90	3.26 3.79 3.26 3.26 3.79 3.70	3.70 3.75 3.70 6.00 6.20 3.20 2.60	8.00 8.00 10.99 10.99 8.00 8.00	PFC (1.235)	電気式がバナ (CD-Ⅱ、水槽車、化学車Ⅰ～Ⅳ等)

検定協会だより 令和3年5月

			2PG-FRS90S2◎	FRS90	3.79	3.20	8.00					
					3.70	2.60	8.00					
			2RG-FSS90S2◎	FSS90	3.79	5.80	10.99					
							11.95					
					3.70	5.50	10.99					
			2PG-FSS90S2◎	FSS90	3.79	5.80	10.99					
							11.95					
					3.70	5.50	10.99					
	93(127)/2,700 177(240)/2,400	5,193	2PG-FVR90U2	FVR90	4.10	7.90	16.00					
						9.00						
						8.10						
			2RG-FTS90S2◎	FTS90	4.25	7.60	14.70					
			2PG-FTS90S2◎									
4 J Z 1 F	103(140)/3,200 110(150)/2,800	2,999	2RG-NLR88N	NLR88	2.75	1.75	4.99	PFA (1.113)	電気式がバナ			
			2RG-NMR88N	NMR88	2.75	3.00	7.49	(1.195)				
			2RG-NLS88AN◎	NLS88	2.76	1.65	4.99	PFA-1 (1.023)				
			2PG-NMS88AN◎	NMS88	2.76	2.00	6.50	(0.954) (0.977)				
							7.00	PFE (1.105)				
6 W G 1 F	269(366)/1,900 272(370)/1,800	15,681	2DG-CYM52CM	CYM52CM	5.755	13.1	22.00	TI-232 (2.118)	電気式がバナ			
								(2.000)(1.895)	(C D - II、水槽車 I - B、II、化学車 I ~ V、大 I、はしご車、屈折はしご車等)			
								(1.800)(1.500)				
								(1.385)				
								PFF (1.650)				
トヨタ自動車株	N O 4 C	100(136)/3,000 110(150)/2,500	4,009	SKG-XZU600H	XZU600	2.525	3.00	7.30	HWOM35A	電気式がバナ (CD - I)		
				SKG-XZU640	XZU640	2.80						
				SKG-XZU685◎	XZU685							
				TKG-XZU600H	XZU600	2.525						
				TKG-XZU640	XZU640	2.80						
				TKG-XZU685◎	XZU685							
				TPG-XZU600H	XZU600	2.525						
				TPG-XZU640	XZU640	2.80						
				100(136)/3,000 110(150)/2,380	4,009	2RG-XZU600H					XZU600	2.525
						2PG-XZU600H					XZU600	
	2RG-XZU640	XZU640	2.825									
	2PG-XZU640	XZU640										
			2KG-XZU685◎	XZU685	2.80							
UDトラックス株	4 H K 1 F	93(127)/2,700 154(210)/2,400	5,193	2RG-BRR90S2	BRR90	3.26	3.70	8.00	PFC (1.235)	電気式がバナ (C D - II、水槽車、化学車 I ~ IV等)		
							3.75					
						3.79	3.70					
				2PG-BRR90S2	BRR90	3.26	3.70	8.00				
							3.75					
						3.79	3.70					
				2RG-BSR90S2	BSR90	3.26	6.00	10.99				
							6.20					
						3.79	6.20					
				2PG-BSR90S2	BSR90	3.26	6.00	10.99				
							6.20					
						3.79	6.20					
				2RG-BRS90S2◎	BRS90	3.79	3.20	8.00				
							8.00					
						3.70	2.60					
				2PG-BRS90S2◎	BRS90	3.79	3.20	8.00				
							8.00					
3.70	2.60											
2RG-BSS90S2◎	BSS90	3.79	5.80	10.99								
			11.95									
		3.70	5.50									
2PG-BSS90S2◎	BSS90	3.79	5.80	10.99								
			11.95									
		3.70	5.50									
93(127)/2,700 177(240)/2,400	5,193	2PG-BVR90U2	BVR90	4.10	7.90	16.00						
					9.00							
					8.10							
		2RG-BTS90S2◎	BTS90	4.25	7.60	14.70						
							2PG-BTS90S2◎					

注：車名型式中「※」は全輪操舵、「◎」は全輪駆動であることを示す。



放水型ヘッド等スプリンクラー設備の 評価結果概要について

虎ノ門事務所

1 放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の総合評価結果

令和2年4月から令和3年3月までに、放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備として総合評価を受けたものはありませんでした。

2 放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の型式評価結果

令和2年4月から令和3年3月までに、型式評価を行った製品については、次に掲げる試験番号が付与され、型式適合評価に合格したものには、「認定マーク」が貼付されております。

依頼者	評価番号	主要構成装置	型式記号	試験番号	承認年月日
ニッタン（株）	S009	制御部	731P-4I	S009C010	R2.12.3
ニッタン（株）	S009	制御部	KH15	S009C011	R2.12.3
ニッタン（株）	S009	制御部	M20C-15-D12PG	S009C012	R2.12.3
中部国際空港（株）	S036	放水部	GTNA15E-360	S036H006	R3.3.29

3 型式適合評価依頼件数及び型式適合評価依頼個数

令和2年4月から令和3年3月までの放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の型式適合評価依頼件数及び型式適合評価依頼個数は次のとおりでした。

(1) 型式適合評価依頼件数

型式適合評価依頼件数	123
------------	-----

(2) 型式適合評価依頼個数

主要構成装置		月別					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
放水部	固定式ヘッド	632	68	217	450	160	217
	可動式ヘッド	10	0	0	0	10	3
感知部		10	0	0	0	16	3
制御部	制御盤	11	18	10	10	7	14
	その他	358	119	100	240	103	135
手動操作部		34	29	1	25	13	18
受信部		0	0	0	0	0	0

主要構成装置		月別						
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
放水部	固定式ヘッド	180	951	239	547	256	30	3,947
	可動式ヘッド	9	0	4	0	8	21	65
感知部		18	0	2	0	16	51	116
制御部	制御盤	9	5	10	8	7	9	118
	その他	102	145	435	124	206	447	2,514
手動操作部		15	9	30	12	31	16	233
受信部		0	0	0	1	0	0	1



「衝撃電圧試験機」の更新について

警報設備部 報知設備課

この度、衝撃電圧試験機が新しくなりましたので紹介いたします。衝撃電圧試験機は「火災報知設備の感知器及び発信機に係る技術上の規格を定める省令」、「中継器に係る技術上の規格を定める省令」及び「受信機に係る技術上の規格を定める省令」に規定されている衝撃電圧試験に用いる試験機です。

1. 衝撃電圧試験の試験基準及び試験方法

衝撃電圧試験は、通電状態の試料に、次に掲げる試験を15秒間行い、試料の機能に異常が生じないことを確認します。

- ① 内部抵抗50オームの電源から500ボルトの電圧をパルス幅1マイクロ秒、繰返し周波数100ヘルツで加える試験。

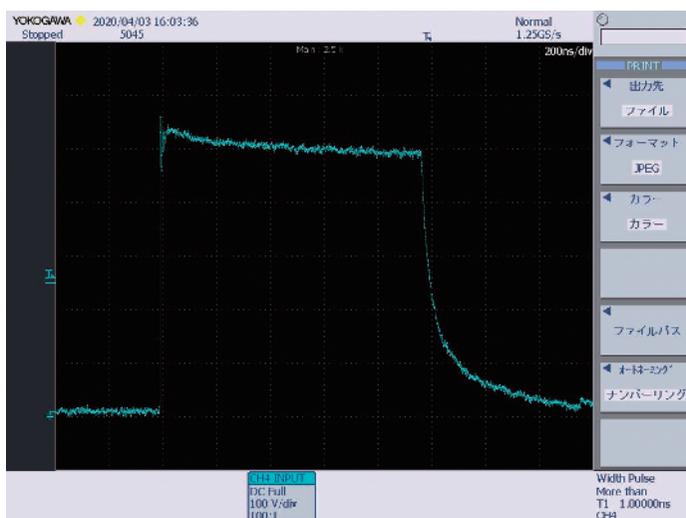


写真1 【100：1のアッテネータでの測定波形】

- ② 内部抵抗50オームの電源から500ボルトの電圧をパルス幅0.1マイクロ秒、繰返し周波数100ヘルツで加える試験。

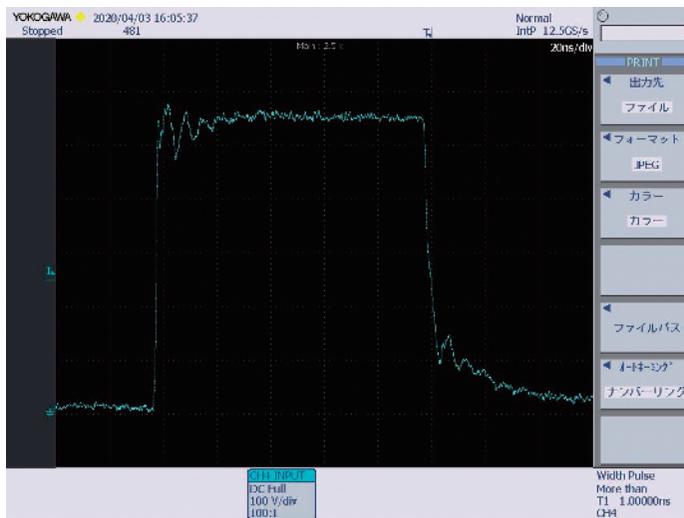


写真2 【100：1のアッテネータでの測定波形】

- ③ 音響装置を接続する中継器及び受信機にあっては、音響装置を接続する端子に、内部抵抗600オームの電源から220ボルトの電圧をパルス幅1ミリ秒、繰返し周波数100ヘルツで加える試験。

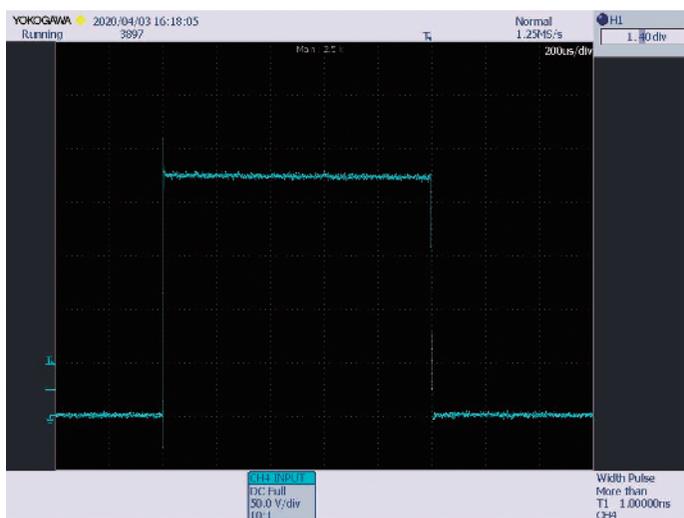
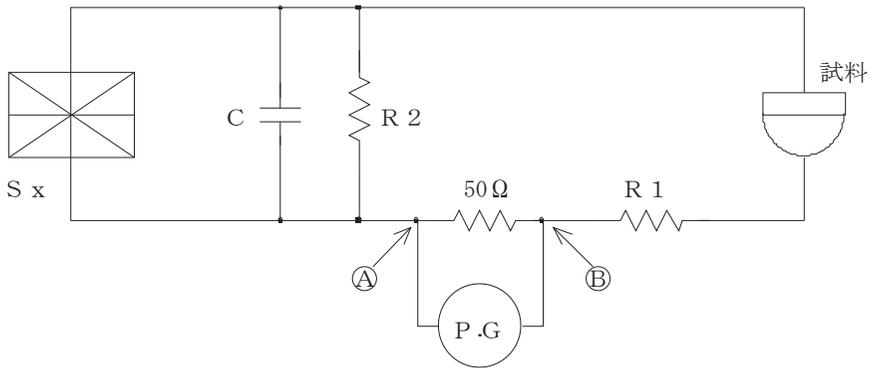


写真3 【10：1プローブでの測定波形】

2. 試験回路の例

衝撃電圧試験は、次の回路を例に行います。回路図上にP.Gと表記されるものが衝撃電圧試験である。

ア 感知器

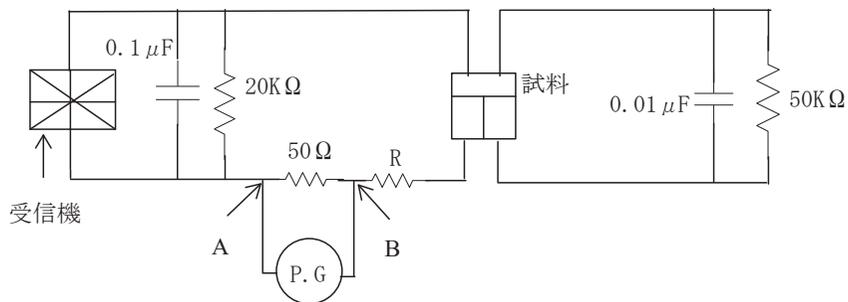


図において、R1、R2、C、Sxは下表によるものとする。

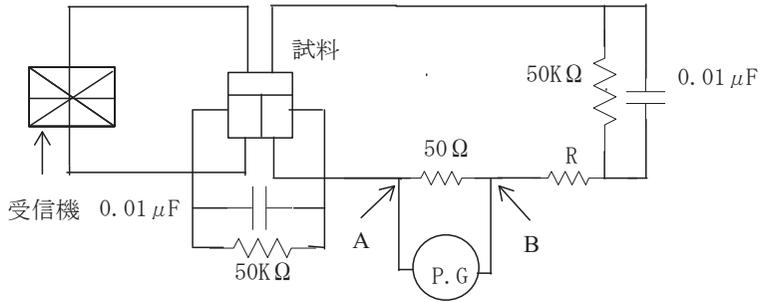
試料	R1	R2	C	Sx
一般感知器	50Ω	20kΩ	0.1μF	受信機
特定小規模施設用 連動型感知器	短絡する。	開放する。	0.01μF	連動用感知器

イ 中継器

(受信機と中継器の間の場合)



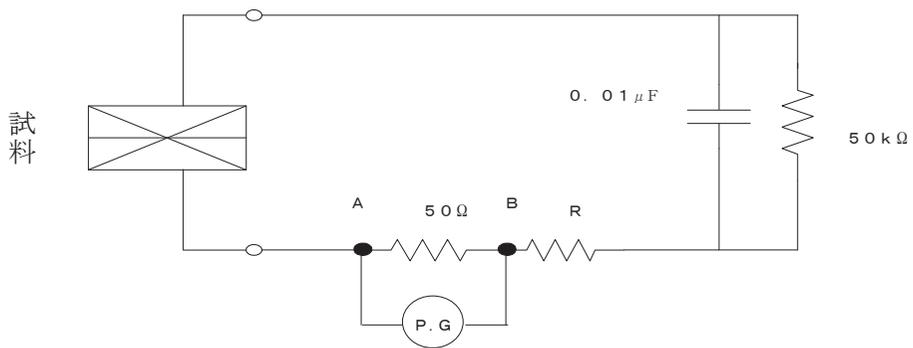
(中継器と他の中継器、感知器又は検知器との間の場合)



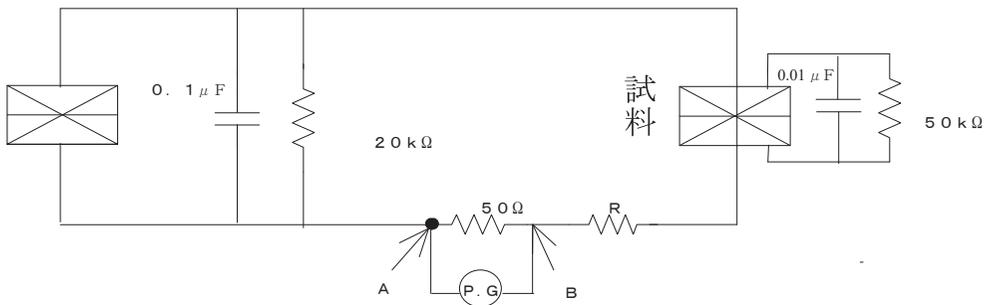
図においてRの値は、P型及びGP型のものにあつては50Ω、その他のものにあつては当該設計外部配線抵抗値とする。

ウ 受信機

(P型受信機、R型受信機、G型受信機、GP型受信機又はGR型受信機)

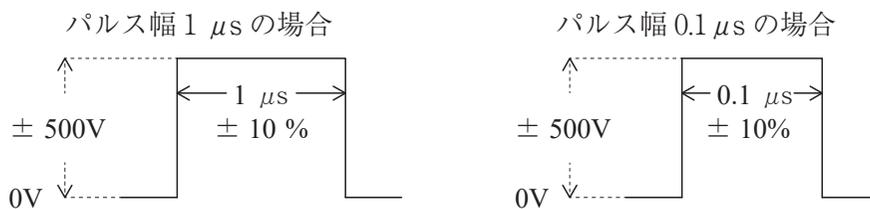


(共同住宅用受信機)



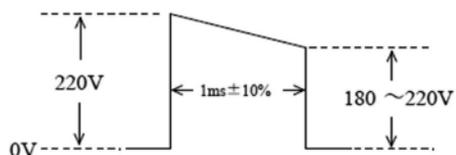
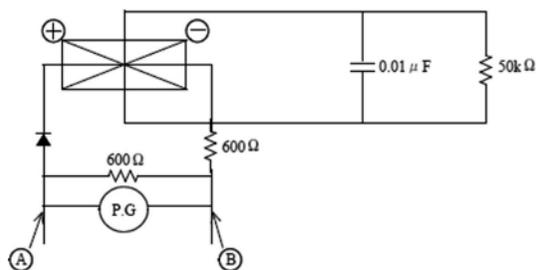
図においてRの値は、P型及びGP型のものにあつては50Ω、その他のものにあつては当該設計外部配線抵抗値とする。

なお、P型2級受信機又はP型3級受信機の機能を有する信号線の場合、50KΩは開放とする。



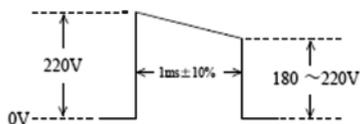
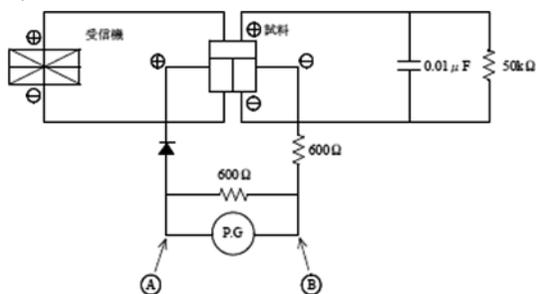
パルス幅は、250Vの箇所で±10%以内とする。

エ 音響端子を接続する端子
(受信機の接続端子)



パルス幅は、110Vの箇所で±10%以内とする。

(中継器の接続端子)



パルス幅は、110Vの箇所で±10%以内とする。

3. 衝撃電圧試験機の構成

衝撃電圧試験機は、ENS-10NS〔信号線用電圧発生部（1. ①及び②の試験に使用）〕とENS-11LNS〔音響端子用電圧発生部（1. ③の試験に使用）〕、安定化電源で構成されています。



写真4 【試験機正面全体図】



写真5 【ENS-10NS】



写真6 【ENS-11LNS】

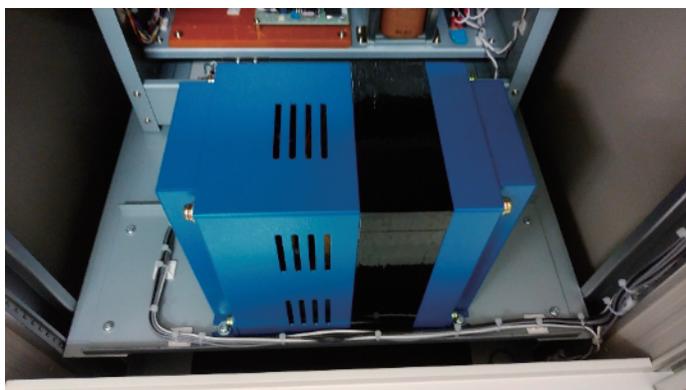


写真7 【安定化電源】

4. 主な仕様

4-1 ENS-10NS (50Ω負荷における仕様)

- (1) パルス形状 方形波
- (2) パルス幅 $100\text{ ns} \pm 10\%$ 以下、 $1000\text{ ns} \pm 10\%$ 以下
- (3) パルス電圧 $0 \sim 1000\text{V}$ の範囲で調整可能 $\pm 10\%$ 以下
- (4) パルス立上り時間 1 ns 以下
- (5) パルス繰返し周期 100Hz 固定 ($\pm 10\%$ 以下)
- (6) 極 性 正/負 切り替え可
- (7) 出力端子 MHV型同軸レセプタクル
- (8) 定格電源 100V 、 50 Hz / 60 Hz

4-2 ENS-11LNS (600Ω負荷における仕様)

- (1) パルス形状 方形波
- (2) パルス幅 1 ms ±10%以下
- (3) パルス電圧 0～600Vの範囲で調整可能 ±10%以下
- (4) パルス立上り時間 300ns以下
- (5) パルス繰返し周期 100Hz固定 (±10%以下)
- (6) 極性 正/負 切り替え可
- (7) 出力端子 MHV型同軸レセプタクル
- (8) 定格電源 100V、50 Hz / 60 Hz



「令和3年度一般公開(オンライン開催)」を終えて

企画研究部情報管理課

日本消防検定協会、消防研究センター、消防大学校及び一般財団法人消防防災科学センターでは、例年、発明の日（4月18日）を含む科学技術週間にあたり、科学技術について広く一般の方々に理解と関心を深めていただくことを目的として、4月第3週の金曜日に「一般公開」を開催してまいりましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため一般公開の中止を余儀なくされました。

このような状況が続く中、今年度におきましては施設会場における実開催を行わずに消防研究センターホームページによるオンライン開催を次のとおり行いましたが、実施期間を1週間としたことから、より多くの方からのアクセスが可能になったことと思います。

来年度におきましては、コロナ禍が終息し従前のように施設会場においての実開催ができますことを期待したいと思います。

1 日時

令和3年4月16日（金）10時00分から

令和3年4月22日（木）16時00分まで

2 掲載アドレス

消防研究センターホームページ（<http://nrifd.fdma.go.jp>）

3 当協会の公開内容

(1) 日本消防検定協会の紹介

当協会のホームページにリンクし、組織、業務内容、消防機器の型式情報等について紹介しました。

(2) 消防機器早わかり講座

各種消防機器についての概要、種類、構造等について紹介しました。

(3) 消防機器の映像資料

住宅用火災警報器の仕組み・取付け方・お手入れ方法等や消火器の購入・使用・保管・処分方法について映像により紹介しました。

検定協会だより 令和3年5月

■■■業界の動き■■■

—会議等開催状況—

◆（一社）日本火災報知機工業会◆

- 業務委員会（令和3年4月8日）
 - ・理事会の議事録について
 - ・住宅用火災警報器関連の報告他
検定申請個数等の定例報告
 - ・製品情報センター運営会議結果について
 - ・事務局長会議の結果について
 - ・社会貢献委員会が実施する令和3年度
寄付事業への協力について
 - ・業務規程類の公布及び施行について
日本消防検定協会
 - ・合格証票類取次事務に係る検定合格証
票取次手数料納入書等の取扱いについて
 - ・定時総会の開催及び定時総会・表彰式
の開催方法について
 - ・委員長連絡会報告

○メンテナンス委員会

（令和3年4月20日）

- ・点検実務検討小委員会報告
- ・維持運用管理手法小委員会報告
- ・（一社）日本火災報知機工業会令和3
年度事業計画について
- ・委員長連絡会報告

○技術委員会（令和3年4月15日）

- ・火報システム技術検討小委員会報告
- ・特小用途拡大検討小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○設備委員会（令和3年4月22日）

- ・設備性能基準化小委員会報告
- ・工事基準書改訂小委員会報告

- ・委員長連絡会報告

○システム企画委員会

（令和3年4月23日）

- ・光警報装置設置啓発映像制作について
- ・委員長連絡会報告

○住宅防火推進委員会

（令和3年4月28日）

- ・交換推進WGについて
- ・令和3年度住宅防火対策推進協議会行
事について
- ・第113回全国消防長会予防委員会書面
会議について
- ・住宅用火災警報器交換促進の取組につ
いて（月刊フェスクより）
- ・住宅用火災警報器検定申請数について
- ・お客様電話相談室受付結果について
- ・委員長連絡会について

◆（一社）日本消火器工業会◆

○第1回 技術委員会

（令和3年4月12日 対面・Web併用
会議）

- ・PFOAに関する工業会の対応について
- ・検定細則について
- ・PFOA等の検討課題について

○第1回 企業委員会

（令和3年4月15日）

- ・令和2年度検定等申請・回収状況
- ・令和3年度委員会委員名簿について
- ・令和3年度機器協会会長表彰および消
火器工業会会長表彰について
- ・令和3年度社会貢献事業の実施計画に
ついて

協会通信

- ・PFOAに関するパブリックコメントについて
- ・消火器リサイクル推進センターからの報告事項
- ・令和3年度各団体定時総会等の開催状況について

○第1回 理事・総務合同会議 (令和3年4月20日)

- ・定例報告
- ・PFOAに関する報告
- ・機器協会会長表彰並びに消火器工業会会長表彰候補者の件
- ・令和3年度社会貢献事業の件
- ・定時総会の運営について
- ・第61期事業報告書(案)承認の件
- ・第61期決算報告書(案)承認の件
- ・役員改選(案)承認の件
- ・第62期会費の額と納入方法(案)承認の件
- ・第62期事業計画書(案)
- ・第62期収支予算(案)

◆(一社)日本消火装置工業会◆

○第411回「技術委員会」 (令和3年4月7日 書面開催)

- ・令和3年度の勉強会の開催について
- ・常設委員会の年間活動報告について
- ・その他

○第194回「第一部技術分科会」 (令和3年4月16日 日本消火装置工業会)

- ・ダクト等で使用する感熱開放継手について
- ・文化財における水系消火設備の施工要

領について

- ・ハウジング形継手の設置範囲について
- ・その他

○第188回「第二部技術分科会」 (令和3年4月15日 日本消火装置工業会)

- ・点検基準、点検要領、試験基準の改正について
- ・消火設備の維持管理について
- ・一斉開放弁の設置年数について
- ・各種資料の改訂について
- ・その他

○第170回「第三部技術分科会」 (令和3年4月20日 日本消火装置工業会)

- ・二酸化炭素放出事故の再発防止に向けた取り組みについて
- ・異なるメーカーの容器弁交換について
- ・ハロンをむやみに大気放出させない対策について
- ・粉末消火設備設計・工事基準書について
- ・その他

◆(一社)日本消防ポンプ協会◆

○令和3年度第1回総務委員会 (令和3年4月27日 対面・Web併用会議)

- ・設立60周年記念事業について
- ・令和3年度第1回理事会他について
- ・第59期定時総会について
- ・全国消防機器協会事務局長会議について
- ・全国消防機器協会会長表彰について
- ・その他

協会通信

検定協会だより 令和3年5月

人事異動

◆消防庁人事◆

○令和3年5月1日付

(氏名)	(新)	(旧)
安達 泰之	予防課特殊災害室主査 併任 国民保護・防災部防災課防 災情報室情報管理係長	原子力規制庁長官官房放射線防護 企画課付
宇都 喬志	併任解除	国民保護・防災部防災課防災情報 室情報企画係長 併任 国民保 護・防災部防災課防災情報室情報 管理係長

○令和3年5月10日付

(氏名)	(新)	(旧)
渡邊 勝大	出向 【総務省大臣官房付へ】 (国土交通省大臣官房調査官)	国民保護・防災部参事官
村川 奏支	国民保護・防災部参事官	総務省大臣官房付

新たに取得された型式一覧

型式承認

種 別	型 式 番 号	申 請 者	型 式	承認 年月日
小型消火器	消第 2021～5号	日本ドライケミカル 株式会社	粉末（ABC）6.0kg（蓄圧式、アルミニウム製）	R3.4.8
	消③第 2021～1号	日本ドライケミカル 株式会社	粉末（ABC）6.0kg（自動車用）（蓄圧式、アルミニウム製）	R3.4.8
定温式スポット型 感知器（試験機能付）	感第 2021～19号	ニッタン株式会社	特種（12V、70mA）・公称作動温度65℃、 非防水型、普通型、再用型	R3.3.29
	感第 2021～20号	ニッタン株式会社	特種（12V、70mA）・公称作動温度65℃、 防水型、普通型、再用型	R3.3.29
差動式スポット型 感知器（試験機能付）	感第 2021～21号	ニッタン株式会社	2種（12V、70mA）、非防水型、普通型、 再用型	R3.3.29
光電式スポット型 感知器	感第 2021～22号	ホーチキ株式会社	1種（24V、100mA）・非蓄積型、非防水型、 普通型、再用型、散乱光式	R3.4.8
	感第 2021～23号	ホーチキ株式会社	2種（24V、100mA）・非蓄積型、非防水型、 普通型、再用型、散乱光式	R3.4.8
	感第 2021～24号	ホーチキ株式会社	3種（24V、100mA）・非蓄積型、非防水型、 普通型、再用型、散乱光式	R3.4.8
中継器	中第 2021～1号	能美防災株式会社	直流24V、外部配線抵抗15Ω	R3.3.26
GP型3級受信機 （遠隔試験機能付）	受第 2021～1号	能美防災株式会社	交流100V、外部配線抵抗10Ω	R3.3.17
流水検知装置	流第 2021～3号	株式会社 立売堀製作所	湿式K50・60、作動弁型100（10K、縦）	R3.4.8
一斉開放弁	開第 2021～1号	東洋バルヴ 株式会社	減圧型40（10K、縦横両用）	R3.3.22
	開第 2021～2号	東洋バルヴ 株式会社	減圧型50（10K、縦横両用）	R3.3.22
	開第 2021～3号	東洋バルヴ 株式会社	減圧型65（10K、縦横両用）	R3.3.22

品質評価 型式評価

種 別	型 式 番 号	依 頼 者	型 式	承認 年月日
消防用結合金具	C17AD01A	櫻護謨株式会社	使用圧2.0、差込式差し口、呼称40	R3.4.1
	C17AE01A	櫻護謨株式会社	使用圧2.0、差込式差し口、呼称50	R3.4.1
	C17AF02A	櫻護謨株式会社	使用圧2.0、差込式差し口、呼称65	R3.4.1
消防用ホース	H0125EC11A	芦森工業株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.6、呼称50（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
	H0324FC17A	帝国繊維株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.3、呼称65（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
	H0324FC18A	帝国繊維株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.3、呼称65（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
	H0325FC13A	帝国繊維株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.6、呼称65（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
	H0724DC06A	オカニワ株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.3、呼称40（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
	H0724EC05A	オカニワ株式会社	平、合成樹脂、使用圧1.3、呼称50（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
	H1125FC02A	株式会社 本田工業	平、合成樹脂、使用圧1.6、呼称65（シングル、ポリエステル・ポリエステルフィラメント綾織、円織）	R3.3.29
可搬消防ポンプ 積載車	TLFCr - II	帝国繊維株式会社		R3.3.18
特殊消防ポンプ自動車 又は特殊消防自動車 に係る特殊消火装置	GMW-15-10	ジーエムいちほら 工業株式会社	水槽付消防ポンプ自動車	R3.3.29
	NWT-10-5	日本機械工業 株式会社	水槽付消防ポンプ自動車	R3.3.31
	M42L-AS-1	株式会社 モリタテクノス	はしご付消防ポンプ自動車	R3.4.8

品質評価 型式変更評価

種 別	型 式 番 号	依 頼 者	型 式	承認 年月日
漏電火災警報器 受信機	E030402B	泰和電気工業 株式会社	交流100/200V、50/60Hz、公称作動電流 値100、200、400、800mA、作動入力電 圧40mV、集合型	R3.4.9

認定評価 型式評価

種 別	型式番号	依頼者	型 式	承認年月日
非常警報設備・ 複合装置	認評非第 2021～1号	能美防災株式会社	普通型、AC100V	R3.3.29
	認評非第 2021～2号	能美防災株式会社	防雨型、AC100V	R3.3.29
非常警報設備・ スピーカー	認評放第 2021～1号	TOA株式会社	コーン型（1W・M級、3W・L級）、音響パワー レベル92dB	R3.3.18
	認評放第 2021～2号	株式会社 JVCケンウッド・ 公共産業システム	複合型（15W/30W/60W・L級）、音響パワー レベル95dB	R3.4.7
地区音響装置	認評音第 2021～1号	能美防災株式会社	DC14V、30mA、公称音圧90dB	R3.3.11

認定評価 型式変更評価

種 別	型式番号	依頼者	型 式	承認年月日
非常警報設備・ 増幅器及び操作部	認評放第 25～109～3号	TOA株式会社	AC100V、最大400W	R3.3.24

特定機器評価 型式評価

種 別	型式番号	依頼者	型 式	承認年月日
特定初期拡大抑制 機器	特評第277号	東邦電気株式会社	特定施設水道連結型スプリンクラー設備（乾 式）に用いる電動弁制御盤	R3.3.19

検定対象機械器具等申請一覧表

種別	型式試験 申請件数	型式変更試験 申請件数	型式適合検定				
			申請件数	申請個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
消火器	大型	0	1	15	1,930	80.9	80.9
	小型	1	0	64	333,312	86.9	86.9
消火器用消火薬剤	大型用	0		2	57	57.0	57.0
	小型用			11	7,330	48.7	48.7
泡消火薬剤		0		24	129,500	147.7	147.7
感知器	差動式スポット型	3	0	32	178,334	55.9	55.9
	差動式分布型	0	0	8	4,870	62.6	62.6
	補償式スポット型	0	0	0	0	皆減	皆減
	定温式感知線型	0	0	0	0	-	-
	定温式スポット型	8	0	28	73,704	45.8	45.8
	熱アナログ式スポット型	0	0	9	6,634	56.3	56.3
	熱複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	イオン化式スポット型	0	0	0	0	皆減	皆減
	光電式スポット型	1	0	34	104,841	50.8	50.8
	光電アナログ式スポット型	0	0	17	45,934	87.4	87.4
	光電式分離型	0	0	3	100	27.4	27.4
	光電アナログ式分離型	0	0	0	0	皆減	皆減
	光電式分布型	0	0	0	0	-	-
	光電アナログ式分布型	0	0	0	0	皆減	皆減
	煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	熱煙複合式スポット型	0	0	0	0	皆減	皆減
	紫外線式スポット型	0	0	1	100	58.8	58.8
	赤外線式スポット型	0	0	5	630	45.8	45.8
	紫外線赤外線併用式スポット型	0	0	0	0	-	-
炎複合式スポット型等	0	0	0	0	-	-	
発信機	P型1級	2	0	10	18,016	65.6	65.6
	P型2級	0	0	8	1,642	33.8	33.8
	T型	0	0	0	0	-	-
	M型	0	0	0	0	-	-
中継器		0	0	90	33,844	79.4	79.4
受信機	P型1級	0	0	47	1,698	66.5	66.5
	P型2級	0	0	16	1,807	36.4	36.4
	P型3級	0	0	0	0	皆減	皆減
	M型	0	0	0	0	-	-
	R型	0	0	10	86	51.8	51.8
	G型	0	0	3	12	皆増	皆増
	GP型1級	0	0	9	14	87.5	87.5
	GP型2級	0	0	0	0	-	-
	GP型3級	2	1	14	30,671	99.3	99.3
GR型	1	0	17	215	122.9	122.9	
閉鎖型スプリンクラーヘッド	0	0	39	157,898	120.1	120.1	
流水検知装置	0	0	50	2,333	101.1	101.1	
一斉開放弁	1	4	22	1,826	408.5	408.5	
金属製避難はしご	固定はしご	0	0	2	25	83.3	83.3
	立てかけはしご	0	0	0	0	-	-
	つり下げはしご	0	0	21	13,783	113.5	113.5
緩降機	0	0	4	600	150.8	150.8	
住宅用防災警報器	定温式住宅用防災警報器	0	0	22	81,155	95.8	95.8
	イオン化式住宅用防災警報器	0	0	0	0	-	-
	光電式住宅用防災警報器	1	0	50	372,445	79.2	79.2
合計	20	6	687	1,605,346	77.7	77.7	

※前年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

性能評価申請一覧表

特殊消防用設備等性能評価業務	性能評価申請件数	性能評価変更申請件数
特殊消防用設備等の性能に関する評価	0	0

受託評価等依頼一覧表

品質評価業務	型式評価依頼件数	型式変更評価依頼件数	更新等依頼件数	型式適合評価				
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
補助警報装置及び中継装置	0	0	0	0	0	-	-	
音響装置	0	0	0	1	300	3,000.0	3,000.0	
予備電源	0	0	0	3	18,200	165.5	165.5	
外部試験器	0	0	1	4	130	100.0	100.0	
放火監視機器	放火監視センサー	0	0	0	0	皆減	皆減	
	受信装置等	0	0	0	0	-	-	
光警報装置		0	0	0	0	-	-	
	光警報制御装置	0	0	0	0	-	-	
屋外警報装置	0	0	0	0	0	-	-	
	屋外警報装置に接続する中継装置	0	0	0	0	-	-	
消火器加圧用ガス容器	0	0	0	3	30,500	50.8	50.8	
蓄圧式消火器用指示圧力計	0	0	1	5	429,015	98.6	98.6	
消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁	0	0	1	6	10,400	412.4	412.4	
消火設備用消火薬剤	0	0	0	7	57,888	92.0	92.0	
住宅用スプリンクラー設備	0	0	0	0	0	-	-	
	構成部品	0	0	0	0	-	-	
動力消防ポンプ	消防ポンプ自動車	0	0	7	8	42.1	42.1	
	可搬消防ポンプ	0	0	3	266	45.5	45.5	
消防用吸管	呼称65を超えるもの	0	1	3	810	218.9	218.9	
	呼称65以下のもの	0	0	3	250	833.3	833.3	
消防用ホース	平 40を超えるもの	0	3	17	21,180	273.7	273.7	
	平 40以下のもの	0	2	14	44,908	280.4	280.4	
	濡れ	0	0	0	0	-	-	
	保形	0	0	0	6	9,000	102.3	102.3
消防用結合金具	大容量泡放水砲用	0	0	1	1	皆増	皆増	
	差込式	0	0	12	30	91,670	85.0	85.0
	ねじ式	0	0	0	24	16,553	87.3	87.3
	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	0	-	-
漏電火災警報器	同一形状	0	0	3	974	487.0	487.0	
	変流器	0	0	0	7	2,125	57.3	57.3
	受信機	0	8	5	1,586	49.0	49.0	
エアゾール式簡易消火具	0	0	1	1	10,873	35.2	35.2	
特殊消防ポンプ自動車	0	0	0	4	4	57.1	57.1	
特殊消防自動車				0	0	-	-	
可搬消防ポンプ積載車	0	0	0	0	0	皆減	皆減	
ホースレイヤー	0	0	0	1	3	100.0	100.0	
消防用積載はしご	0	0	0	1	10	3.6	3.6	
消防用接続器具	0	0	3	10	2,836	91.7	91.7	
品質評価業務				確認評価				
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比(%)	対前年 累計比(%)	
外部試験器の校正				7	22	68.8	68.8	
オーバーホール等整備				2	2	200.0	200.0	

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

令和3年4月

認定評価業務	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)	
地区音響装置	0	0	0	26	22,267	86.8	86.8	
非常警報設備	非常ベル及び自動式サイレン	1	0	1	46	5,470	102.0	102.0
	放送設備	0	2	4	65	51,551	57.7	57.7
パッケージ型自動消火設備		0	0	0	0	0	-	-
	構成部品	0	0	0	0	0	-	-
総合操作盤	0	0	0	0	0	-	-	
屋内消火栓等	易操作性1号消火栓	0	0	0	12	2,805	131.1	131.1
	2号消火栓	0	0	2	15	1,610	102.5	102.5
	広範囲型2号消火栓	0	0	0	8	565	79.6	79.6
	補助散水栓	0	0	0	0	0	-	-
	ノズル	0	0	0	20	6,090	58.4	58.4
認定評価業務	装着番号付与 確認評価 依頼件数		更新等 依頼件数	製品確認評価				
屋内消火栓等	消防用ホースと結合金具の装着部	0	0	13	67,958	209.1	209.1	
認定評価業務	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価				
特定駐車場用泡消火設備	0	0	1	11	6,944	48.6	48.6	
認定評価業務	総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備 (評価)	0							
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備・構成装置		1	0	3	10	10	83.3	83.3
特定機器評価業務	総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
特定消防機器等	2	0	0	3	13	24,130	116.0	116.0
受託試験及びその他の評価	依頼件数			依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)	
受託試験 (契約等)	0							
受託試験 (その他の契約等)				3	3	150.0	150.0	
評価依頼 (基準の特例等)	0							

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

編集 後記

ここ数年訪れている桜の名勝のひとつに、岐阜県高山市の「荘川桜」があります。

現在の樹齢500年といわれる2本の老桜は、昭和35年、電源開発株式会社による当時東洋一といわれたロックフィルダム「御母衣（みぼろ）ダム」建設によって、荘川村（現高山市荘川町）中野地区が水没することに伴い、同地区光輪寺と照蓮寺の境内にあった老桜も同じ運命になるはずでした。

しかし、電源開発（株）初代総裁の高碓達之助氏は、この桜を水没から何とか救いたいと考え、移植など不可能だという声の中、高碓氏の想いを受け止めた多くの専門家や職人たちの力で世紀の大移植が行われ、この2本の桜は奇跡的に蘇ったという実話が存在します。

桜は、俗に「桜伐（き）る馬鹿、梅伐らぬ馬鹿」といわれるように、梅と異なり、むやみに枝を伐採すると、たちまち立ち枯れしてしまう外傷に弱い植

物として知られていますが、当時の村人達の「ふるさと」へ想いが奇跡を生みました。

昭和37年の水没記念碑の完成の際には、他の土地へ移住した500人の村人が駆けつけ、すべてが水没した水面を見つめて泣いた。そして、わずかに生き残った2本の老桜にすがりつくように集い、いつまでも桜の下の輪を解こうとはしなかったと記されています。（J-POWERのHP「荘川桜」より）

移植60年を迎えた今年は、2本の老桜は少し控えめに、そして静かに咲き誇っていました。

さて、今月号では、静岡県消防局長の小長井善文様には巻頭のことばをご寄稿いただき誠にありがとうございました。

6月号では、横浜市消防局長の松原正之様には巻頭のことばをご寄稿いただき、当協会からは「令和2年度の検定業務を振り返って」などを掲載する予定です。

検定協会からのお願い

検定協会では、消防用機械器具等について検定及び受託評価を行い、性能の確保に努めているところですが、さらに検定及び受託評価方法を改善するため、次の情報を収集しています。心あたりがございましたら、ご一報下さいますようお願いいたします。

(1) 消防用機械器具等の不作動、破損等、性能上のトラブル例

(2) 消防用機械器具等の使用例（成功例又は失敗例）

連絡先 東京都調布市深大寺東町 4-35-16
日本消防検定協会 企画研究課
電話 0422-44-8471（直通）
E-mail
<kikenka@jfeii.or.jp>

発行 日本消防検定協会

<http://www.jfeii.or.jp>



本所 〒182-0012 東京都調布市深大寺東町 4-35-16
TEL 0422-44-7471(代) FAX 0422-47-3991



大阪支所 〒530-0057 大阪市北区曽根崎 2-12-7 清和梅田ビル4階
TEL 06-6363-7471(代) FAX 06-6363-7475



虎ノ門事務所 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル16階
TEL 03-5962-8901 FAX 03-5962-8905

検定協会だよりはホームページでもご覧になれます。

当該刊行物にご意見・ご要望・ご投稿がありましたら、本所の企画研究部情報管理課検定協会だより事務局までお問い合わせください。
e-mail : kikaku@jfeii.or.jp 専用 FAX 0422-44-8415



日本消防検定協会